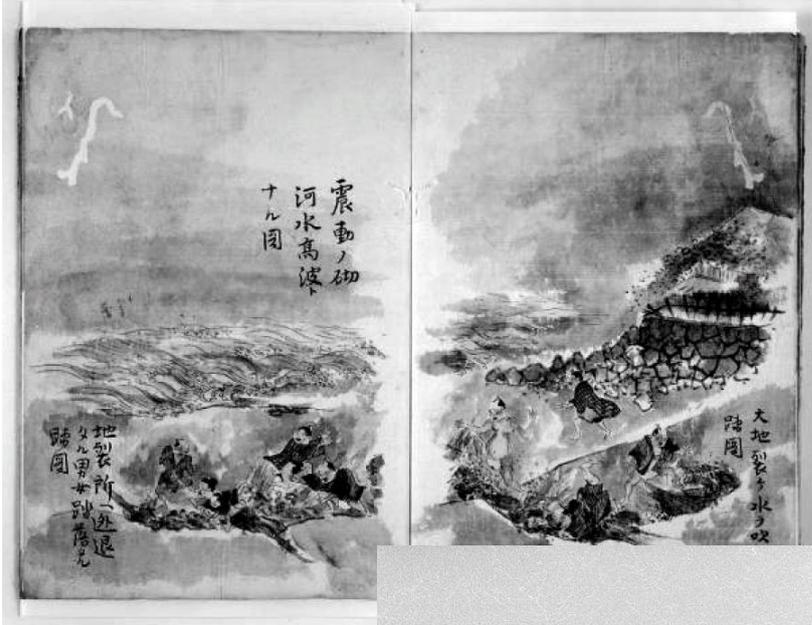


富山県内液状化しやすさマップ



国土交通省北陸地方整備局
公益社団法人 地盤工学会 北陸支部

地盤の液状化現象は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」でも広範囲にわたって各種施設に多大な被害をもたらし、マスコミ等を通じて広く報道されるなど、大きな関心事になりました。

北陸地方においても新潟地震(昭和 39 年)、新潟県中越地震(平成 16 年)、能登半島地震(平成 19 年)、新潟県中越沖地震(平成 19 年)では、家屋、堤防、道路等に多くの液状化被害が発生しました。

そのため、北陸地方整備局では、公益社団法人地盤工学会北陸支部との共同により、過去の液状化発生状況や地形地質等に関する情報等を加えて検討し「液状化しやすさマップ」を作成しました。

富山県内は、隣接する新潟県と比べ過去の液状化履歴は少ないものの、近傍には地震発生源となる活断層が分布しており、今後も地震が発生して地盤の液状化被害が起こる可能性があります。

「液状化しやすさマップ」は液状化しやすいかどうかを示したものです。住んでいる土地(地盤)の性質を知っていただき、土地利用をする際や防災に役立ててもらいたいと考えています。

ご利用にあたって

- ①このマップは、地盤の液状化という点にのみ注目し、「液状化しやすさの傾向」を示したものであり、地震被害想定マップではありません。なお、液状化しにくい地盤でも地震による揺れが大きくなる場合があるので留意ください。
- ②液状化しやすいとされる地形条件と既存の地盤(ボーリング)データを参照しており、多くの推定を含んでいます。したがって、大まかな傾向を示したものととらえてください。
- ③液状化対策が実施された建物など、地盤が液状化しても被害が現れない場合があります。本マップは液状化による被害の有無にかかわらずあくまでも地盤の性質として、液状化しやすい傾向を示したものです。

表紙の写真 写真上：富山県立図書館所蔵「地水見聞録」挿入絵に描かれている 1858 年安政飛越地震の液状化により地割れから地下水が噴出する様子 文献 1) より

写真中：新潟地震の液状化により倒壊したアパート(新潟市川西町) 写真提供：渡邊馨一郎氏

写真下：新潟地震の液状化による被害写真(新潟市陸上競技場) 写真提供：渡邊馨一郎氏

索引図及び目次

目次

索引図及び目次

1章	1
液状化しやすさマップ作成フロー	
2章	3
液状化しやすさマップ	
3章	9
液状化Q&A	
4章	12
富山県を襲った地震ー過去の液状化被害ー	
5章	13
富山県の地形・地質	
一口知識	15
引用・参考文献	19

